

第27回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム (SEAD27)

機械と電気を有機的に結合し、ダイナミックな系を構成することによって高い機能を有するシステムが実現できることは周知のとおりである。このような技術体系をさらに発展させるためには、機械、電気、原子力、材料、化学、生物、制御などの多岐にわたる学問の共創が不可欠である。本シンポジウムは、「電磁力」と「ダイナミクス」に関連する異分野、異業種の研究者が一堂に会し、情報交換と討論を行う場として、日本機械学会、日本AEM学会、電気学会によって、それらの学会の特徴を生かしながら催されるシンポジウムである。

1989年に日本機械学会の主催で第1回シンポジウムが裏磐梯国民休暇村にて開催されて以降、電気学会と日本機械学会とが交互に主催してきた。第11回からは日本AEM学会が加わって輪番による担当で開催されている。第26回は、日本AEM学会の主催で、2014年5月21-23日にアイーナ岩手県民情報交流センターで開催された。第27回は、電気学会の主催で以下のように開催予定である。

開催時期: 2015年5月14日(木)~15日(金)

開催場所: ハウステンボス

〒859-3293 長崎県佐世保市ハウステンボス町1-1
(長崎空港よりバスで約50分, 博多駅より特急「ハウステンボス」
で1時間45分)

論文募集スケジュール:

講演申込締切 2015年(平成27年)1月16日(金)

講演原稿提出締切 2015年(平成27年)3月13日(金)

論文募集分野:

- 1 電磁力関連の材料(機能性材料・電磁材料, 磁性流体, 液晶・電気粘性流体)
- 2 アクチュエータ(電磁アクチュエータ, 圧電・静電アクチュエータ, 超磁歪アクチュエータ, マイクロ・ナノメカニズム, 多自由度モータ・新アクチュエータ)
- 3 電磁力関連応用技術(磁気浮上技術, リニアドライブ技術, 磁気軸受とその関連技術, 回転機技術, バイオメカニクス, 静電力・プラズマ応用, 超電導とその応用, 電磁誘導技術とその応用)
- 4 電磁力関連の力学と機能性の制御(振動と制御, 材料の電磁特性と応用)
- 5 計測とセンシング・信号処理(電磁非破壊評価, 信号処理・分析, センサ・計測技術)
- 6 電磁界解析, シミュレーション技術
- 7 ロボット・医療福祉応用
- 8 その他 電気自動車, 環境調和型応用技術など電磁力関連分野

学会参加費: 一般(会員):12,000円 一般(会員外):16,000円

学生(会員): 6,000円 学生(会員外): 8,000円

(講演論文集1冊分, ハウステンボス入場料を含む)

懇親会参加費: 一般:6,000円 学生:3,000円

(5月14日(木)ハウステンボス ホテルヨーロッパ「レンブラントホール」)

実行委員会:

委員長 樋口 剛(長崎大学)

副委員長 杉浦壽彦(慶応大学)

参加申込方法: 下記 SEAD27 ホームページにてご確認下さい。

http://www2.eee.nagasaki-u.ac.jp/sead27/index_sead27.php

お問い合わせ先:

第27回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム事務局 sead27@ml.nagasaki-u.ac.jp

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学工学部工学科電気電子工学コース

横井 裕一

